

学校だより  
第2号令和6年7月 1日（月）  
発行：那覇尚学院  
高等専修学校  
文責：初鹿野 修

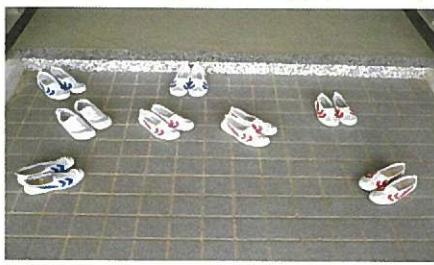
# いつも心にあいうえお

## 高等専修学校の1年目の教育実践

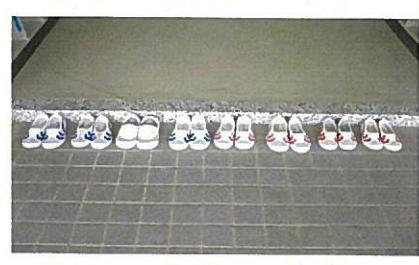
高等専修学校の校内研究・・・一人も独りにしない、きき合う関係で学びを深める生徒の育成  
～きき合う関係づくりから学び合う学びの構築～



わたしは・・・



わたしは勉強する



わたしとあなたと学ぶ

私は、あなたと学ぶ  
学校は、学力をつける場だ  
そんな学校にするために、「きき合う関係」「支え合う関係」と、今は生徒の仲間がいないけど「分からぬ」「教えて」からはじまる学びを大切に

私は、あなたと育つ  
学校は、規律を学ぶ場だ  
生徒と教師が築いていくことが「学びの共同体」になることだと考える

それは、学校という場に、仲間がいるから  
学校は、楽しみのもてる場だ  
今は生徒の仲間がいないけど

### 環境が人をつくり、人が環境をつくる

生徒と教職員が過ごす場が学校。学ぶ場にふさわしい学校環境・教室環境を整えていきたいものです。  
一人の生徒にとって、教室・授業はどんな意味をもつのでしょうか？

- ①教室・授業は、楽しいところであってほしい
- ②教室・授業は、学ぶところであってほしい
- ③教室・授業は、昨日と今日の変化があらわれているところであってほしい
- ④教室・授業は、「がんばるぞ」と意欲の高まるところであってほしい
- ⑤教室・授業は、清潔さ、美しさを感じるところであってほしい
- ⑥教室・授業は、自分の変容、伸びた様子がみえるところであってほしい
- ⑦教室・授業は、自分の存在感が十分に認識できるところであってほしい
- ⑧教室・授業は、だれでも、いつでも、なんでも言えるところであってほしい

### 人的環境が一番

環境には、物的環境、人的環境、情報的環境があります。学校・教室・授業における人的環境は生徒たちと教職員。教職員の影響は大きい。一人を授業時に観（診）ることで、声をかけることで、生徒の気持ちは変わります。学校・教室・授業の楽しさ、喜び、充実感を知らず知らずのうちに与えているものです。毎日の出会いを大切にしていきましょう。